

芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊

芸術新聞

発行：アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部

本社：千葉県茂原市渋谷1016-12

メール：agree@green.ocn.jp

agree-sys@excite.co.jp

HP：http://weeklyart.seesaa.net/auth/article_preview/

おもしろ体験博物館
江戸民具街道

神奈川県足柄上郡中井町久所418

開館時間：9:00~17:00

休館日：月曜日

問い合わせ：0465-81-5339

HP：http://edomingu.com/

特別展 シーボルト没後150年記念

よみがえれ！
シーボルトの日本博物館

名古屋市博物館

シーボルトが
魅せられた日本

19世紀、アジアのさい果ての国ニッポンに憧れ、オランダ商館の医師としてやって来たドイツ人シーボルト。二度の来日で熱心に博物学的な収集をおこな

い、日本の自然や生活文化を中心とした膨大な数の物品を持ち帰った。彼はこれらを駆使して、ヨーロッパに日本を紹介するための展覧会をたびたび開きました。それは万国博覧会やジャポニスムの流行の先駆けとなる活動でした。この日本博物館の実現に生涯をかけた彼の没後150年を記念し、厳選した約300点

の品々がドイツから里帰した。シーボルトが魅せられ、ヨーロッパの人々に見せようとしたニッポンの姿にせまる。

見どころ

第1章 日本に魅せられた男、シーボルト

・シーボルトの生い立ちと日本行き

・シーボルトのフィールドワーク

・シーボルトの私生活タキ・イネ母子との幸せな暮らし

・日本再訪

第2章 シーボルトの日本研究

・鳴滝塾と門人たち

・シーボルト『日本』の刊行

・『日本植物誌』『日本動物誌』の刊行

・シーボルトの日本研究と地図

第3章 シーボルトの日本展示と民族学博物館構想

・ライデンにおける展示

・アムステルダムにおける展示

・ヴェルツブルクにおける展示

・ミュンヘンの展示とコレクションの売却

第4章 ようこそシーボルトの日本博物館へ

・アムステルダム展示の再現

・シーボルト最後の日本展示

・復元の問題点

第5章 日本研究者シーボルトの最後

・再渡来のための最後の挑戦

メモ

◆ 4月22日(土)
5月11日(日)

名古屋市博物館(名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27)

TEL 03-5777-7777

8600(ハローダイヤル)

一般1600円 大学生1200円 高校生800円 毎週月曜日・第4火曜

日休館

次号は

5月25日発行

熱海湾を一望で
き、眺望ナンバー
ワンの美術館

■MOA美術館(静岡県熱海市桃山町26-2) 電話0557-(84)2511

一般1600円、高校生800円、中学生以下無料、65歳以上1200円木曜日休(祝日は開館)

JR熱海駅下車/バス4番のりばMOA美術館行8分

版画でみる20世紀
展覧 ピカソから
ウオーホルまで
開催中!

■諸橋近代美術館

(福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093番23) 一般・

大学生950円、高校生500円、小・中

生200円生*毎週土曜

日、小・中学生は無料
電話0241(37)

1088

佐野美術館

競演！
江戸の人気浮世絵師たち
平木コレクション名品展花形絵師たちの
作品が揃い踏み

平木コレクションは、国内外に知られる有数の浮世絵版画コレクション。実業家・平木信二氏は戦後、海外流出の危機にあったコレクションを日本に留め、昭和46年（1971）に財団法人平木浮世絵財団を設立した。現在は、公益財団法人平木浮世絵財団・平木浮世絵美術館として、全国的美術館・博物館で公開している。

本展は8000点もの所蔵品から厳選した重要美術品を含む90点を、浮世絵の主な分野である美人画、役者絵、風景画、花鳥画の四つに分けて紹介。美人画は錦絵の祖・鈴木春信（すずきはるのぶ）、黄金期に活躍した鳥居清長（とりいきよなが）・喜多川歌麿（きたがわ うたまる）、役者絵は謎の絵師・東洲斎写楽（とうしゅうさいしやらく）、風景画と花鳥画は浮世絵を世界に広めた葛飾北斎（かつしか ほくさい）や歌川広重（うたがわひろしげ）など、花形絵師たちの作品が揃い踏み。



江戸の人々が夢中になって求めた人気者の“グラビア”や役者の“ブロマイド”であり、旅の“

ガイド”ともいえる浮世絵に今、名品を通じて親しく触れてみる絶好の機会です。なお、会期中一部展示替えがあります。

◆ 5月20日
（土）～7月2日（日）

佐野美術館（静岡県三島市中田町1-43） TEL 055-975-7278
一般・大学生1000円 小・中・高校生500円 木曜日休館

ベトナム絹絵画家グエン・ファン・チャン
絵画修復プロジェクト展

上野の森美術館ギャラリー

修復後初公開
となる絹絵など

20世紀のベトナム近代絹絵の生みの親として知られるグエン・ファン・チャン。

その傷んだ作品を保存・修復し未来に遺したいという、画家の長女で作家のグエット・トゥ氏の願いを受けて、平成21年、絵画保存修復家の岩井希久子氏を中心に、プロジェクトが立ち上がった。

本展では、絹絵「牛に乗って川を渡る女」に水彩画のほか、修復後初公開となる絹絵など、素描、水彩画など約20点の作品を展示。

また、岩井希久子氏によりトークショーや、保存・修復活動を記録したドキュメンタリーフィルム「記憶を繋ぐ人々」の上映もある。なお、この展示会は三谷産業株式会社（石川県金沢市）が支援している。

◆ 5月10日
（土）～5月16日（火）

上野の森美術館ギャラリー（東京都台東区上野公園1-2） TEL 03-3833-4191
一般1000円 大学生500円 高校生以下無料 休館日不定休

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んでの展示

■ 国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市城内町1-17） 電話03（5777）8600
ハローダイヤル 一般420円、高校・大学生250円、中学生以下無料 月曜日休館

着物、帯、のれん、屏風、額絵、絵本など多岐にわたる

■ 静岡市立芹沢鉦介美術館（静岡市駿河区登呂5-10） 電話054（282）5522
一般420円 高大生250円 月曜日休館

庭園ゾーン
書院ゾーン
体験ゾーン
展示ゾーン

■ 北九州市立小倉城庭園（北九州市小倉北区城内1-2） 電話093（582）2747
会期中無休

美術館を満開にしている

春夏秋冬の中でさまざまな表情をみせる自然の姿は、古くから日本人の心を魅了してきた。とりわけ、四季折々に咲き誇る花は、その美しさとともに、詩歌や文学と結びつきながら季節を象徴するモチーフとしても愛好され、現代にいたるまで描き継がれている。その表現には、単独の花、鳥や昆虫との組み合わせ、四季の花を一面に描く構成など、個性豊かなバリエーションが生み出された。

当館では春爛漫の季節に合わせ、四季の花をテーマとした企画展を開催。日本美術に描かれた梅、桜、牡丹、薔薇、百合、紫陽花、

花*Flower*華

企画展

—琳派から現代へ—

8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 大学生以下 高生800円 中学生以下 無料 毎週月曜日休館

本展では、春夏秋冬の花を描いた多彩な作品約60点を展示し、花の絵画で美術館を満開にしている。さらに、花の特徴や花にまつわる物語・歴史、画家が残した言葉を交え、その魅力を紹介している。

メモ

◆ 4月22日(土) 6月18日(日)

山種美術館(東京都渋谷区広尾312) Tel 03 5777 8600



朝顔、菊、桔梗、水仙、椿などの代表的な花を通して、江戸時代から現代までの華麗なる絵画の世界を巡ります。

埼玉県立近代美術館

ロシア科学アカデミー図書館所蔵 川原慶賀の植物図譜



関心を持ったシーボルトの

生き生きとうつしとる高い技量

荘厳な雰囲気をもつ作品

長崎の絵師、川原慶賀(かわはらけいが、1786〜1860)は、江戸時代後期、日本人の立ち入りが厳しく制限されていた出島の出入りを許され、オランダ商館の求めに応じて、日本の様々な文物を描いた膨大な数の絵画を制作していた。

戸田浩二氏は笠間の陶芸家伊藤藤東氏に師事し、2002年より薪窯を築いて制作をしている。その作品は焼き締め技法による装飾を排した端正な花器や水瓶などで、いずれ

戸田浩二展 一聖水一



◆ 4月27日(木)〜6月28日(日)

LIXILギャラリ

(東京都中央区京橋36)

18 東京建物京橋ビル

LIXIL: GINZA

2F) Tel 055 975

7278 無料 水曜日

休館

要求に依って西洋画法を習得した慶賀は、彼に随行し、長崎や江戸参府の途上で、植物の姿かたちを正確にうつした写生図を数多く描いた。

シーボルトがヨーロッパに持ち帰った慶賀や他の絵師による植物図譜のうちおよそ1000点はシーボルトの死後ロシアに渡り、現在ロシア科学アカデミー図書館に収められている。

慶賀の人物像を明らかにする資料は少なく、その多くの部分は謎に包まれている。しかし植物図譜をはじめ、長崎の風景や人々の暮

らしを描いた作品は、この画家が鋭い観察眼と、見たものを生き生きとうつしとる高い技量を持っていたことを物語っている。

メモ

◆ 4月8日(土)〜5月21日(日)

埼玉県立近代美術館(埼玉県さいたま市浦和区常盤9301) Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 大高生800円 中学生以下無料 毎週月曜日休館

特集

琳派の美と光琳茶会の軌跡
尾形光琳国宝「紅白梅図屏風」

MOA美術館リニューアルオープン記念第3弾

熱海市のMOA美術館では、リニューアルオープン記念第3弾として、「琳派の美と光琳茶会の軌跡」と、2日間限りの特別公開として、国宝「紅白梅図屏風」が開される。

数多くの
光琳作品が
出展

尾形光琳（1658～1716）は、本阿弥光悦や俵屋宗達らの作風を慕いながら、独自の画風を築き上げた琳派の大成者として知ら



術館は、昭和60年、開館3



周年記念事業として小西家文書の中にある光琳筆の図面や大工仕様帖等の資料を



基に光琳屋敷を復元し、これを機に茶の湯文化の普及・振興と、光琳芸術の顕彰を願いとして、光琳茶会を発足した。毎年2月に開催される本茶会は、国内有数の美術商・数寄者のご協力のもと、毎回趣向を変えながら開催され、数多くの光琳作品が展覧されている。

MOA美術館では、「琳派の美と光琳茶会の軌跡」を開催し、光琳芸術の魅力を紹介している。本展では、これまで各席の床に掛けられた尾形光琳の優品を展覧できる。さらに館蔵の光悦、宗達、光琳、乾山、抱一など琳派作品の中から光琳茶会にて取り合わされた作品

を展覧し、その軌跡を振り返る貴重な展覧会となること間違いはない。

メモ

◆ 4月28日
(金)～6月6日
(火)

MOA美術館（静岡県熱海市桃山町26）TEL 0557 84 2511

（代表）一般1600円
高大生1000円 小中生無料 シニア割引1400円 障害者割引800円

木曜日休館（祝祭日の場合は開館）

2017年6月11日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

●東京国立博物館(平成館) 「茶の湯」 6月4日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 月曜日休館

●国立西洋美術館 「シヤセリオ展」 5月28日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 月曜日休館

●国立新美術館 「ミュンハヘン展」 6月5日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 火曜日休館

●国立科学博物館 「大英自然史博物館展」 6月11日まで Tel 03 3577 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 月曜日休館

●三菱一号館美術館 「オルセーのナビ派展…美の預言者たち」 5月21日まで

まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1700円 月曜日休館

●ワタリウム美術館 「坂本龍一 設置音楽展」 5月28日まで Tel 03 3402 3001 一般1000円 月曜日休館

●渋谷区立松濤美術館 「今様 昔の今をつなぐ」 5月21日まで Tel 03 3465 9421 一般500円 月曜日休館

●すみだ北斎美術館 「てくてく東海道 北斎と旅する五十三次」 6月11日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 無休

●出光美術館 「茶の湯のうつわ 和漢の世界」 6月4日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●三井記念美術館 「奈良 西大寺展 叡尊と一門の名宝」 6月11日まで

東京郊外

●武蔵野市立吉祥寺美術館 「北村周一 フラッグ『フェンスぎりぎり』一歩手前」 5月28日まで Tel 0422 22 0385 一般300円 無休

●智美術館 「篠田桃紅 昔日の彼方に」 5月28日まで Tel 03 5773 5131 一般1000円 月曜日休館

●森美術館 「N・S・ハルシヤ展…チャーミングな旅」 6月11日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1800円 無休

●練馬区立美術館 「19世紀パリ時間旅行 失われた街を求めて」 6月4日まで Tel 03 3577 1821 一般800円 月曜日休館

●平塚市美術館 「リアル(写真)のゆくえ」 6月11日まで Tel 0463 352111 一般800円 月曜日休館

●静岡市美術館 「アル

関東南部

●そごう美術館 「ルドウテの『バラ図譜』展」 5月28日まで Tel 045 465 5515 一般1000円 無休

●カスヤの森現代美術館 「追悼 宮脇愛子」 5月21日まで Tel 046 52 3030 一般600円 月・火・水休館

●茅ヶ崎市美術館 「自転車の世紀展」 6月4日まで Tel 0467 88 1177 一般700円 月曜日休館

●平塚市美術館 「リアル(写真)のゆくえ」 6月11日まで Tel 0463 352111 一般800円 月曜日休館

●静岡市美術館 「アル

関東北部

●千葉市美術館 「絵本はここからはじまった ウオルター・クレインの本の仕事」 5月28日まで Tel 043 221 2311 無休

●茨城県陶芸美術館 「PUNK 工芸 魂の救済」 5月28日まで Tel 0296 70 0011 一般310円 月曜日休館

●遠山記念館 「花の美術 春から夏へ」 6月11日まで Tel 049 297 0007 月曜日休館

●アーツ前橋 「加藤アキラ 孤高のブリコロール」 5月30日まで Tel 027 330 3773 一般500円 水曜日休館

●足利市立美術館 「BIB 50周年 プラティスラヴァ世界絵本原画」 5月28日まで Tel 0284 43 3131 一般700円 月曜日休館

パレス・ブラボ写真展」 5月28日まで Tel 054 273 1515 月曜日休館

ルネ・ラリックの生涯と出会う

●箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84)2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上)1300円、中学生・小学生800円年中無休

からくり人形な関係資料多数展示中

●江戸民具街道(神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81)5339 月曜日休館

箱根の景観と自慢のスウィーツを楽しむ

●箱根写真美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300) 432 電話0460(82)2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

*お出かけ時は再度ご確認下さい。

Art Topics

RATAN ART 展

Yumiko Suzuki & her friends



RATAN ART 2017

Art Gallery LOS PINOS & Café



アートに囲まれた
コーヒーリゾート

5月25日 (木) ~ 5月30日 (火)
12:00~18:00

アートギャラリーロスピノス
神奈川県藤沢市南藤沢7-6-102
TEL 0466-26-2000



開館120周年記念特別展覧会

海北友松

開幕27日目に来場者数10万人達成!

京都国立博物館で開催されている「開館120周年記念特別展覧会 海北友松 (かいほうゆうしよう)」は、4月11日(火)の開幕以来、多くの来場者でにぎわった。5月11日の夕方には、開幕27日目にして、退場者数10万人を達成!、その日の夕方には「10万人達成セレモニー」が行われる。公式キャラクター・トラりんもセレモニーを盛り上げる。

海北友松は「龍」を描く名手として、広く海外にまでその名をとどろかせている。本展の龍図を集めた一室では、あえて照度を落とし、あたかも暗雲の中で龍がうごめく気配が感じられるような雰囲気演出している。暗闇に浮かび上がる龍たちに注目を集めている。なお、この展示会は5月21日(日)まで開催される。

国際博物館の日記念シンポジウム



さまざまな記念行事を開催する。その一環として、2019年に開催されるICOM

毎年5月18日は、ICOM (国際博物館会議) が定めた「国際博物館の日」、世界各地の博物館で記念行事が実施される。日本でも日本博物館協会とICOM日本委員会が主催し、文部科学省の後援のもとに、多くの博物館が参画してさ

第1部では、ICOM大会を京都で開催することの重要性について、博物館関係者のみならず市民の方々にも知っていただくことを目的に、ICOM幹部による基調講演と、ICOM京都大会に向けた準備状況の紹介をする。また、ICOM京都大会の先鞭として秋に日本で開催される「世界科学館サミット」について、日本科学未来館の毛利館長が講演。

第2部では、2017年の国際博物館の日のテーマである「歴史と向き合う博物館 博物館が語るものは」について、パネル・ディスカッションを行い、博物館の現代的役割について